

宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和6年4月8日（月）
文責 校長 村田 浩彦

令和6年度の宝達小学校がスタートしました



令和6年度の宝達小学校がスタートしました。本日4月8日（月）、8名の元気いっぱいの子を1年生を迎え、入学式が行われました。3月下旬にやや寒い日が続き、サクラの開花が昨年より10日ほど遅れていましたが、今日は新入生の入学を祝うかのようにきれいな花をたくさん咲かせています。

さて、能登半島地震発災から約3か月経ち、学校生活も少しずつ通常活動に戻りつつあります。子どもたちのところの中の見えない傷を意識しながら、学習や行事に取り組んでまいります。また、本校閉校の年となりますので、学校や地域の良さを再認識するとともに、外部に発信することも計画しています。

今年度も、全教職員が一丸となり各種教育活動に取り組んでまいりますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。
校長 村田 浩彦

令和6年度 宝達小学校 職員組織

1年間、よろしくお願いいたします。（名前の前の○印は、今年度着任です。）

学年	男子	女子	合計	学級担任	
1年	2	6	8	池島 綾香	いけしま あやか
2年	5	1	6	井上沙矢佳	いのうえ さやか
3年	4	1	5		
4年	3	3	6	土肥 知美	どひ ともみ
5年	7	2	9		
6年	7	5	12	越後 静香	えちご しずか
ひだまり	1	0	1	新瀬 和夫	しんせ かずお
そよかぜ	2	0	2	池島 正芳	いけしま まさよし
合計	31	18	49		

【校長】 村田 浩彦

【教頭】 ○石井 優子（中能登教育事務所より）

【級外】 ○中村 愛美（高松小学校より）

【養護教諭】 杉本さゆみ

【主事】 真館 佑季

【用務員】 越野 直美

【支援員】 岩網 裕香・立中 詠子

※今年度より、4・5年生も複式学級となっています。

【転出者】 北 豊
松本 幸子
徳山 有里
山岸 健市
中村 勤

国立能登青少年交流の家へ
宝達志水町立押水第一小学校（教頭）へ
津幡町立英田小学校へ
宝達志水町立相見小学校へ
退職

大変お世話になりました。
ありがとうございました。

令和6年度 宝達小学校 学校経営方針

1 教育目標 「主体的に学び、心豊かに逞しく生きる児童の育成」

校訓 ～よく考える子 おもいやりのある子 たくましくやりぬく子～

2 経営方針

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「安心・安全な環境」「学校・家庭・地域の連携」の具体化を推進し、児童の成長がわかる学校をめざす。

3 本年度の重点

- ・基礎基本の定着をもとに、主体的対話的で深い学びのある授業を展開し、確かな学力の定着を図る。
→児童の学力等の向上がわかる学校
- ・令和の日本型学校教育への理解を一層深め、児童の学びを支援する環境作りを推進する。
→教師の指導力向上がわかる学校
- ・働きやすさとやりがいを目標とし、業務改善に一層取り組む体制作りを推進する。
→教師の組織力向上がわかる学校

4 具体的な取組

(1) 自立した学習活動を一層進め、学ぶことの意義を実感し、学力の確かな定着をめざす。

- ・教科横断的な視点をもとに「単元デザイン」を踏まえた、主体的・協働的な学習活動を進める。
- ・教科等の資質能力育成のために、ICT(電子黒板・Chromebook)の効果的活用を図る。
- ・学びのルールを徹底する。(「宝達っ子3か条」)
- ・閉校の前に郷土の良さを再認識させ、その良さを外部に発信する活動を進める。

(2) 人とのかかわりを通して、心豊かな児童の育成をめざす。

- ・繋がりのある道徳の授業の工夫・改善を図る。(児童, 家庭, 地域, 教材)
- ・場に応じた挨拶を身に付けた児童を育成する。※「立ち止まり, 名前を呼び, 先に」挨拶
- ・「縦割り班活動」等を通して、全校児童の交流を積極的に進める。
- ・「感想交流」を通して、主体的に他人と関わり合うことができる児童を育成する。

(3) 自分の健康に関心を持ち、健やかな身体の育成をめざす。

- ・児童の家庭生活の基本である「早寝, 早起き, 朝ごはん」を大切にする。
- ・学校生活を通して、自分の健康に関心をもたせる。
- ・年間を通した体力づくりを実践する。
- ・児童が「進んでしたくなる, やりたくなる」取組の企画や声かけに努める。



(4) 安心・安全な学習環境づくりをめざす。

- ・防災訓練(自然災害, 火災, 原子力, 弾道ミサイル, 不審者対応等)を通して、児童の「自分の命は自分で守る」意識を高める。
- ・各種対応訓練(食物アレルギー, 心肺蘇生・AED等)を通して、教職員の危機管理能力の向上を図る。
- ・いじめや不登校に対して、児童の実態把握をもとに、家庭と連携しながら個に応じた組織的対応を推進する。
- ・PTAや地域, 関係機関と連携した児童の見守り活動を推進する。

(5) 家庭・地域と連携し、協働する学校をめざす。

- ・本校の教育に対する説明及び結果責任を果たすため、PTA総会等での説明のほか、日頃より家庭, 地域への発信を積極的に行う。(各種おたより, メール, ホームページ等)
- ・各種ボランティアを活用し、学校と家庭・地域の連携を一層進める。
- ・閉校に向けた各種取組を地域と連携・協力しながら推進する。

(6) 組織的に授業改善・業務改善に取り組む学校をめざす。

- ・年間1人1回以上の研究授業を行い、授業改善・授業力の向上を図る。
- ・ICT活用による効率的業務の推進を図るとともに、時間外勤務時間を縮小する。
- ・校内 OJT や校内研修会を通して、人材育成を図るとともに、業務の平準化につなげる。

